

登園届 (保護者記入)

山手幼稚園 園長宛

_____ 組

園児名 _____

診断された日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

病名「 _____ 」と診断され、

医療機関名「 _____ 」において、症状が回復し集団生活に

支障がない状態になり、 _____ 年 _____ 月 _____ 日から登園します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 _____

印 _____

幼稚園は、園児が集団で生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に活動できることが大切です。

下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、登園届の提出をお願いします。なお、幼稚園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

■ 登園届が必要な感染症など

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
とびひ	効果的治療開始後24時間まで	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染症が強い)	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること
咽頭結膜炎(プール熱)	発熱・充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
風しん(三日ばしか)	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂皮(かさぶた)形成まで	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
麻しん(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺膨張後4日	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の膨張が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで